学校番号	3005

令和５年度　芸術科

教科	芸術科	科目	ビジュアルデザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	学校制作教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題テーマから自らイメージを膨らませて作品を制作します。日頃からモノの質感や特性に興味を持ち、観察するよう心がけましょう。
デザインは感覚で行うものではなく、基礎やルールに則って作品を制作していきます。
モノを作るにあたっては構想を練る下準備がとても大切です。構想を練るのには、スケッチブックを活用し、表現したいものを可視化するプロセスを大切にしましょう。
よいデザインをイメージするために、日ごろから作品・商品・メディアにできるだけ多く触れるようにしましょう。
みどころ・こだわりを持って作品制作することがよりよいモノづくりにつながります。

2　学習の到達目標

ビジュアルデザインに関する学習を通して、デザインの視覚的効果や伝達機能について理解を深め、生活や社会に深く関わる視覚伝達デザインの表現と鑑賞の能力を高める。
デザインの目的や条件を理解し、主体的に主題を捉えて表現するデザイン力を高める。
計画立案やプロセスを重視し、プレゼンテーションの表現を工夫する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	多様な表現方法に関心を持ち、意匠を凝らした創作に取り組もうとしている。 調査に基づいたデザインを行っている。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、調査したことを統合し、目的を考慮した構想を練っている。	高いデザイン力や技能を身に付け、目的に対して考えて表現している。 表現方法を工夫している	見た目の美しさだけでなく外観・機能性能など、より良いものにするために目的を理解し深められている。
評価方法	制作の様子 取り組む姿勢	スケッチブック	作品 小テスト	合同評価会

上に示す観点に基づいて学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	デザインの基礎・構成	【平面デザイン】 ・色彩の基礎 ・視覚伝達デザイン ・デザイン技法	○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:デザインすることに関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:モノのよさや美しさを感じ意匠について理解を深めている。 c:色彩構成の技法を習得している。 b:鉛筆やアクリルガッシュによる表現方法を理解している。	制作の様子 小テスト 取り組む姿勢 作品
	デザイン応用	【立体デザイン】 ・プロダクトデザイン ・プレゼンテーション ・作品鑑賞	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:デザインするということを理解し、学習に意欲を高めている。 b:美しいと感じる心を養い、デザインの働きや文化について興味関心を深めている。 c:目的を意識した表現がなされている。創造した作品に意匠を凝らしている。 d:表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにするデザインの働きや作品などついて理解を深めている 。	制作の様子 取り組む姿勢 スケッチブック 作品 合同評価会
後期	クラフトデザイン	【工芸・陶芸】【鑑賞】 ・工芸作品制作 ・合評会	○	○	○	○ ○	a:素材の特徴を生かし表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:用途美をふまえつつ、形体、色彩などを工夫して表現の構想を計画的に練っている。 c:素材の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 鑑賞活動の様子や発言 スケッチブック 作品 合同評価会

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解